

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
1	避難所感染予防対策事業		洪水避難マップ（詳細版ハザードマップ）を作成し、在宅避難及び垂直避難が可能な世帯（人数）を判別した避難計画を策定することで、指定避難所における避難者の混雑（密）を回避し感染予防・拡大防止を図る。避難者カードを作成し事前配布することで、避難者受入れ時の混雑（密）を避け感染予防・拡大防止を図る。指定避難所（東小学校）及び緊急避難場所（海老瀬地区）への避難者用備蓄品保管場所として、備蓄倉庫を購入する。また、緊急避難場所（海老瀬地区及び西岡地区）への避難者用備蓄品を購入する。災害時避難所となっている旧北・南小学校について、より多くの教室を避難場所として使いやすいうように整備する。避難所における感染予防・感染拡大の防止には、避難者自身で情報収集をし、予防対策・感染拡大防止対策の徹底が必要不可欠であることから、情報収集設備のない避難所にテレビを設置する。				
	事業開始	事業終期					
	R3.6	R4.3					
実施事業名・担当課			総事業費	交付金対象経費	補助・単独	補助対象事業費	備考
①避難所感染予防対策事業		総務課 安全安心係	24,347,800	23,877,311	単独	-	
②避難所感染予防対策事業（旧北・南小避難所整備）		企画財政課 財政係	6,648,400	6,648,400	単独	-	
③避難所感染予防対策事業（避難所備品購入）		教育委員会事務局 東部公民館	410,300	410,300	単独	-	
合計			31,406,500	30,936,011			単位（円）
事業の実績	①避難所内における感染拡大防止及び密を回避し分散避難を図るため、必要な備品等（備蓄倉庫：5棟・仮設トイレ20基）の整備や詳細版ハザードマップ・避難者カードを作成した。 ②令和2年4月の小学校再編により廃校とした旧北・南小学校について、特別教室に据え付けられた机や、準備室に据え付けられた棚などを撤去し、避難所として使いやすいように整備した。あわせて教室などに残されていた学習機などを処分した。旧北小学校については、校庭入口の門柱を撤去、入口脇のバスケットゴールを移設した。 ③情報収集設備のない緊急避難場所であるわたらせ自然館に、65インチ型液晶テレビ1基を設置した。						
事業の効果	①各種コロナ対策備品の整備や詳細版ハザードマップ・避難者カードを毎戸に配布できたことにより、多くの町民が避難した際の避難所内における感染拡大防止及び分散避難を図ることが可能となった。 ②特別教室をフラットにし、棚などを撤去することで、避難スペースとして使える場所を広げることができた。旧北小学校の校庭入口まわりを整備することで、校庭への車両乗り入れを容易にし、車で避難がスムーズにできるようになった。 ③避難所にテレビを設置したことにより、避難者自身でコロナ感染予防対策・感染拡大防止対策のための情報収集手段が図られた。						